



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより 50 号 2 月 24 日
・特別支援学級の取組の成果
・「美し国駅伝町の部優勝」
川越中学生、卒業生の頑張りを

四気 = 川越中学校訓 「やる気 ほん気 こん気 げん気」
学校教育目標 『自立した生徒の育成 -自律・調和・創造-』のもと
・自分を大切にする ・他者を大切にする ・粘り強くやり切る 生徒
・人を大切にする ・安全で安心できる ・地域や保護者とともにある 学校 づくりを目指します

【特別支援学級6組の子どもたちの学習の成果(学習発表の場として)】
「第36回三泗小・中学校特別支援学級学習発表会」が開催されました。
川越中学校特別支援学級6組の12名の子どもたちの毎日の学習を一生懸命に取り組んできた発表の場。個性あふれる作品には一生懸命がいっぱい詰まっています。

第36回三泗小・中学校特別支援学級学習発表会 令和5年2月17日(金)

会場：四日市市文化会館 ステージ発表は第1ホールにて 展示発表は第4ホールにて

【学習発表会の目的】

- ① 日常の学習活動の成果を発表することにより、達成感を味わう。
- ② 他校の発表内容を鑑賞・見学することにより相互に向上し合う。
- ③ 特別支援教育への理解を深める。

【学習発表会の内容】

合唱 器楽演奏 朗読 劇 ダンス パワーポイントでの発表
表現活動など。



2月17日(金)は四日市市文化会館第4ホールにて「第36回三泗小・中学校特別支援学級学習発表会」が開催されました。川越中学校からは、作品展示発表として参加しました。この発表会は、三泗地区の多くのみなさんに、特別支援学級に在籍する児童生徒が、日々どのような学習に取り組み、どのような学習の成果を上げているのかを発表する、そして授業の様子や、日々子どもたちの頑張りが一生懸命を知っていただく大切な貴重な時間です。今回の作品は、特別支援学級の12名のみなさんが授業内にて作成した作品ばかりです。川越中学校の特別支援学級に在籍するみなさんは、毎日の学習を交流学級での授業と6組での授業に取り組む時間割を1日の中で一人ひとりに応じたものとなっ

ています。今回の展示作品は、日々の時間割の中でも6組で取り組む、生活や自立活動等の時間を有効に活用し、6組担任の寺本先生、竹下先生、生活支援員の先生方の丁寧で熱心な指導を受けながら、個性いっぱいの『オリジナルキーホルダー』や『手作りランプシェード』そして、『折り紙でのちぎり絵』など、一人ひとりがしっかりと表現されたステキな作品となっています。そして、毎日の授業に一生懸命に集中して頑張っていることが作品からもしっかりと伝わるものとなっています。当日の展示会場を見学していると、他の学校の先生や保護者のみなさんからも、「ランプシェード」「オリジナルキーホルダー」を見て、「綺麗!」「学校で作ってみたい!」という声も聴こえてきました。川越中学校でも、これから、職員玄関にて作品展示をしていきます。機会があれば、ぜひ、川越中学校特別支援学級に在籍の子どもたちと、担任の先生と、生活支援員の先生たちとともに、一生懸命に粘り強く取り組んできた様子がしっかりとわかる作品を見てほしいと思います。6組のみなさん、ステキな作品をありがとう!そして、川越中学校の花壇でのチューリップも楽しみです!



「第16回美し国三重市町対抗駅伝」みんなで応援していました！
川越町『町の部優勝！』市町総合でも『第5位入賞』おめでとうございます！
川越中学校の代表としての生徒たちの頑張り、誇れる卒業生の頑張り！



【 町役場1階ロビー「美し国駅伝町の部優勝」記念の展示コーナーにて 】 【 アンカー小林 丈瑠さん(川越中出身 麗澤大2年) 】

【 川越町、川越中学校を代表して選抜されたみなさん 】

2年1組 川村 成海 さん 渡邊 亜由 さん
1年2組 水野 花音 さん 1年3組 研屋 杏虹 さん 1年4組 星野 駿人 さん



【 川越町代表として選抜された、川越中学校の大切な卒業生のみなさん 】

間野 至恩さん(伊賀白鳳高校2年) 加世堂 懸さん(仙台育英高校3年) 藤井 なみ さん(四日市商業高校1年)
小畑 文乃さん(四日市農芸高校3年) 林 美咲さん(神戸高校2年) 端野 光将さん(愛知工業大学3年)
小林 丈瑠さん(麗澤大学2年: 川越中学校3年時には、全国中学校駅伝競走大会で「全国9位」のメンバーです)



先週2月19日(日)8時45分スタート。三重県庁前から伊勢市の三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場までの10区間42,195キロの区間にて、「第16回美し国三重市町対抗駅伝」が3年ぶりに開催されました。

川越中学校からは、1年生女子2名、1年生男子1名、2年生女子1名、2年生男子1名が代表として選抜されました。当日では、1区・2区の川越南小学校の6年生・5年生の選手の素晴らしい走りにより、選抜された川越中学校1年生研屋杏虹さんが3区3.83kmで市町全体で2位(町の部区間賞、市町総合でも区間2位)の頑張り、2位をつなぐ1年生星野駿人さんが4区5.58kmでも2位をキープ(市町総合で区間5位)に、2年生渡邊亜由さんが高校生が中心の7区でも市町総合4位の力強い走り(市町総合で区間8位)を見せてくれました。今回の美し国駅伝では、高校生・大学生区間では川越中学校出身の誇れる先輩が7名代表としてエントリーされました(高校生5名、大学生2名)。当日は、第6区のジュニア男子では伊賀白鳳高校2年の間野至恩さんが区間6.36kmで出場し、町の部区間賞(市町総合でも6位)の活躍をした。間野さんは12月の全国高校駅伝競走大会にて伊賀白鳳高校のアンカーを任された高校2年生です。また、第9区のジュニア女子では四日市農芸高校3年の小畑文乃さんが市町総合で8位の走りでも粘り強く走り切りました。小畑さんは、四日市農芸高校陸上部で活躍し、県高校駅伝や各種大会でも中・長距離選手として活躍した選手です。そして、アンカーの10区を走る20歳以上男子の部では小林丈瑠さんが大活躍。関東の大学で箱根駅伝を目指している麗澤(れいたく)大学の有望な選手です。アンカーではどの市町にも全国大学駅伝大会や箱根駅伝に出場した選手がいっぱいいます。その中でも、川越町の優勝への思いを一身に背負って最後まで力強い走りで見事、町の部で4年ぶりの王座奪還での優勝です。そして、8区の20歳以上女子の部では、大学生・社会人・実業団の全国レベルの選手が競い合う区間で、川越中学校の保護者の服部有里さんが本当に粘り強く素晴らしい走りでもタスキをつないでくれたことにも感動しました。

駅伝大会後の友好レースでも、川越中学校2年生川村成海さんが1,500mでぶっちぎりで優勝！1年生水野花音も1,500mで最後まで一生懸命な走りで大健闘！その他にも、今回の大会ではケガにより、控えとしてバックアップとしてくれた愛知工業大学3年生の端野光将さんは昨年11月の全国大学駅伝大会で熱田神宮から伊勢神宮までの区間の中でチームの中心選手として走った選手です。同じく、加世堂懸さんは間野さんと同じく、12月の全国高校駅伝競走大会にて仙台育英高校の2区を任せられ全国5位入賞に大きく貢献した選手です。この春からは箱根駅伝を目指して、明治大学に進学するそうです。

選手20名全員で勝ち取った町の部優勝！本当にありがとうございます！この大会に向けて取り組んできた、日々の練習の積み重ね。監督はじめ山下ヘッドコーチ、渡邊コーチはじめ関係の皆様。ありがとうございました。